

街道400年

中山道

散策マップ

五

深谷宿
▼
本庄宿
▼
神流川



伝説の古刹をたどり 群馬県境までを目指

安部氏ゆかりの源照院や岡部六弥太が眠る普濟 緒ある古刹が数多く集まる深谷宿北部、そして小 城下町として栄えた本庄宿から群馬との県境をなす合 神流川まで、古い歴史がいざなうルートを探訪した



中山道

中山道 歩けるルート

推定ルート

①

●

V

※中山道のルートは時代により変わっています。ここでのルート
※掲載の地図は市町村発行の1/1万を使用（さいたま市1/2万、東

ながら す

寺など、由
笠原氏の
戦の舞台・



岡部浄水場



2 おかべしんやあと 岡部陣屋跡 [高嶋秋帆幽囚の地]

深谷市岡部

岡部陣屋跡は、弘化3年(1846)に高嶋秋帆が幽閉された場所で、秋帆はその後江戸屋敷へ移された。現在はその歴史を記す石碑が建つ。

JR高崎線

2 岡部陣屋跡

岡部・南

岡部東郵便局

岡部・北

岡部

普濟寺

普濟寺北

正明寺

1 源勝院

観音寺

岡部神社

白蓮寺

3 普濟寺

4 岡部六弥太忠澄の墓

稻荷神社

菅原神社

福川



1 げんしょういん 源勝院

深谷市岡部

天正18年(1590)に岡部の領主となった安部氏の菩提寺。本尊の千手観音は靈驗あらたかな乳房観音の別名をもっている。



3 ふさいじ 普濟寺

深谷市岡部普濟寺

開基は「平家物語」にも登場する鎌倉武士の岡部六弥太忠澄。寺の裏手には、県指定の史跡で六弥太の墓と伝えられる五輪塔群がある。



4 おかべろくやただすみのほか 岡部六弥太忠澄の墓

深谷市岡部普濟寺

源頼朝に従い平治の乱で名を上げ、一ノ谷の戦いで平忠度を討つ。三基並ぶ五輪塔の中央が忠澄で、左が夫人、右が父行忠の墓とされる。

見どころ バス停

名所・旧跡 本町 主要交差点

国道

は江戸時代末期のものをしてあります。

京都1/2500

..... 中山道まめ知識

**幕府に貢献した高嶋秋帆の
波乱万丈の生涯**

高嶋秋帆は寛政10年(1798)長崎生まれ。西洋軍事学を修得し、高嶋流砲術を創出した。その後幕府の命で江戸近郊にて砲術を広めたが、一部の者から中傷を産み岡部藩で幽閉の身に。その後赦免され、軍事力強化に貢献した。



6 おかのみやしんじや
岡廻宮神社
深谷市岡
高い木立に囲まれた静かな社。室町時代から水難除けと豊作を祈念して奉納された獅子舞は、現在、町の文化財に指定されている。



7 ひやくこうしん
百庚申
深谷市岡
豊見坂を下ると、斜面におびただしい庚申塔が建ち並ぶ。これは約140年前に造られた「史跡百庚申」で、現在は60基ほどが残る。

..... 中山道まめ知識

**栄朝禅師を開山とした
禅宗の名刹・普濟寺**

別名を玉竜山。寺の入口に「岡部六弥太忠澄旧跡」の石柱が建ち、六弥太が臨済宗の僧・栄朝禅師を開山として建立したと伝える。栄朝は栄西に師事し、関東地方に禅宗を広く布教しようと活躍。しかし寺はその後曹洞宗となった。



5 とうござんたいしんじや
島護産泰神社
深谷市岡
榛沢郡の総鎮守で安産の神様。創建は東国征伐でこの地を訪れた日本武尊とされる。この手前には岡部藩領岡下村の高札場があった。





10 みとさか 御堂坂

本庄市日の出4丁目

元小山川を渡って国道17号を横切り、さらに進むとなだらかな登り坂が約500mほど続く。左手に庚申塔が現れたらそこが御堂坂。

本庄市

中山
旅人の案内役である「傍示堂」の仏堂
宝珠寺や八幡神社、帯を過ぎると、傍示堂という名前の集落へ。風土記によると、そのてて街道の案内とした由来であると記録され、先の追分は「五料道」



8 ほうじゅじ 宝珠寺

本庄市牧西

右手に見える寺院入口には石仏が建つ。この周辺には歴史的遺構が数多く残り、少し先には子育て地蔵や庚申塔なども見られる。



9 もくさいはちまんたいじんじや 牧西八幡大神社

本庄市牧西

左手には、大木に覆われて厳かにたたずむ八幡大神社。ここでは市の指定文化財である「金鑽神楽宮崎組」が春と秋に奉納される。

●本庄ひまわり福祉会館
●藤田公民館

●宗真寺

●最法寺



道まめ知識
った
 して田園地
 (ほうじょう)
 「新編武蔵
 の昔仏堂を建
 のが村名の
 ている。この
 という道路。」

五街道とは

五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅客、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路の持つ役割や変遷などを確認しながら、今後のより豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

(写真は五街道の起点・日本橋に設置された「道路元標」)



中山道とは

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿69次、全長約135里(約530km)。埼玉県では、戸田から本庄の勅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里(約75km)の道程です。



「中山道散策マップ」は、中山道にゆかりのある名所・旧跡や見どころなどを広く紹介し、その魅力をあますところなく伝えようとするものです。地図やカラー写真を満載し、実際のウォーキングが楽しめるように構成しました。400年の時代の流れとともに、古きよき時代の中山道の面影に触れることができるでしょう。



国土交通省大宮国道事務所

〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435
 TEL 048(669)1205
 ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

平成15年10月初版
 平成19年3月改訂
 ※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵

re100 この広報紙は再生紙を使用しています。